
痕

慧

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

痕

【著者名】

慧

【ZID】

Z6992Z

【あらすじ】

別れた彼を忘れない、その気持ちは何と呼ぶのでしょうか。

(前書き)

別れた彼を忘れない、その気持ちが向と呼ぶのでしょうか。
ちょっと暗いお話。

まだ、涙が出た。

深夜にひとり、部屋で膝をかかえる。

膝の間に顔をうずめて体を小さく丸めた。

このまま、小さくなつて、そのまま消えてしまえたら楽なのに。

その考えに小さくわらう。

そんな夢想をするより、簡単に消える方法なんていくらでもある。引き出しに入つてる刃物で手首を切つても、そこのグランダから飛び降りても、世界から消えることができる。

それをしないのはまだ心のどこかで希望を抱いているからだ。

彼が「今までのことはウソだよ。」と笑つて会いに来て、抱きしめてくれるのではないかと。

いまどき、身分違いの恋なんて物語の中の事だと思つていた。だけど彼と会つてから、今もあることなのだと身を持つて知つた。

知人の紹介で出会つた旧華族という彼。

「初めまして、よろしくね？」

初めはただ柔らかくわらう人だと、そんな印象だった。

そこから、彼の秘められた熱を知つていくにつれて惹かれていつた。

それでも、この人の傍でふたりで幸せになるのだと、ぼんやり夢見ていた。

「僕は望みを諦めない。」

小さな彼の幸せと、彼の実の家族の命を奪った親族に復讐をするのだとわらつた。

そのために好きでもない女と結婚するし、子作りだってするのだと、穏やかにわらつた。

わたしはそのときに初めて最初から彼の描く人生にはいなかつたのだと、悟つた。

「さよなら。」

最後まで、穏やかにわらつて彼は別れを告げた。

1ヶ月経つても、頭から心から、体だって彼を忘れることができない。

もう、指が覚えている彼の携帯番号。

ゆっくり震える指で最後のボタンを押せば、聞こえる「ホール音。番号を変えることだってできるのに変えずにそのままなのは、捨てきれない彼の優しさなのか、ずるさなのか。

そんなのはどうちだつていー。

『・・はい。』

「わたし、です。」

あなたの、これからにわたしがいる隙間があるならば、

「あのね、」

わたしは、そこしげがみつべ。

「あなたをあいしているの。」

この気持ちが憎しみなのか愛しさなのかもうわからない。
手首を切つて消えてしまった方が、苦しくないかもしねい。
ただ、あなたと人生に痕を遺させて。

「あなたをあいしているの。」

(後書き)

生きる中でいろいろな人と関わっていくけど、その中で忘れられていくのは悲しいよな、と思つて思いついたお話です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6992n/>

痕

2010年10月20日19時24分発行